

生徒指導推進計画

1 目標

一人一人の児童の個性の伸長を図るとともに、社会的な資質や能力・態度および児童の自己指導力の育成をめざす。

2 基本方針

児童一人一人の自己実現を支援し、自己存在感を与える。

3 実践目標

① 共感的な人間関係づくり

児童理解を基本におき、日々の教育実践の中で心のふれあいを深め、教職員と児童および児童相互の共感的な人間関係づくりに努める。

② 基本的な生活習慣の育成

生活習慣や規範意識の育成について、児童の発達段階に応じた指導を行い、必要に応じて保護者との連携を行う。

③ 創意工夫のある授業づくり

授業の工夫・改善を行うとともに、児童一人一人の学習上の課題に応じたきめ細かい指導に努める。

4 実践計画

① 教職員の研修

- ・ 児童理解の研修（子どもの見方）・事例検討（実践事例を中心に）を全体研修会として行い、充実させる。

② 「児童理解」を基底においた個々の児童とのかかわり

- ・ 児童に対する教育相談活動の充実を図る。
- ・ 家庭との連携を密にして、児童の実態把握に努める。
- ・ 生活目標に関わって、全校朝会等で児童の実態について肯定的評価をし、児童の行動化の意欲を高める。
- ・ 生活点検表等を活用しながら、児童の生活実態を把握する。

③ 生徒指導委員会の定例会

- ・ 校内生徒指導委員会を月1回実施する。児童理解に資する情報交換や協議を行うとともに、教育相談体制の確立を図る。
- ・ 子どもを語る会を学期に1回程度実施する。配慮や指導を要する児童について共通理解を図るための研修を行う。
- ・ 子どもをどう育てるかという視点で協議を行う。

④ 保護者や関係機関との連携

- ・ 保護者との懇談、家庭訪問、学級通信などを通して家庭との連携を密にする。
- ・ 児童民生委員を交えた研修会を実施し、地域との緊密な連携に努める。
- ・ 長期休業中、巡回指導を行う。

⑤ 課題発生時のための組織づくり

- ・ 緊急対応のための組織づくりを行い、それぞれの責任、役割を明確にしておく。

（ 校長 教頭 生徒指導主事 養護教諭 ） + 該当担任